

HER2陽性の根治切除不能な進行・再発の唾液腺癌
ハーセプチン+ドセタキセル併用療法 患者プロトコール

催吐リスク

軽度

放射線併用なし

投与プロトコール		投与量	投与日	投与時間	備考	
1コース 21日間 コース数:最大8コース 《開始時基準 PS:0~2 20歳以上》						
ルートKeep	生食 500ml	-	Day1	-		
プレメディ	デキサメタゾン+生食100mL		Day1	30分		
①	初回	ハーセプチン: 8mg/kg 60mg/Vを注射用水3mL、150mg/Vを注射用水7.2mLで溶解 (溶解液濃度21mg/mL)し、必要量を下記に混注 生食 250mL	mg	Day1		90分
	2回目以降	ハーセプチン: 6mg/kg 60mg/Vを注射用水3mL、150mg/Vを注射用水7.2mLで溶解 (溶解液濃度21mg/mL)し、必要量を下記に混注 生食 250mL				下記参照
フラッシュ	ルートキープ用生食でフラッシュを行う。					
②	ドセタキセル: 70mg/m ²	mg	Day1	1時間		
	5%ブドウ糖 250mL					
<p>◆ハーセプチンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>◆ハーセプチン投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量(8mg/kg)で投与を行う。</p> <p>なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。</p>						

佐賀大学医学部附属病院